

医薬品開発における トランスレーショナルリサーチ ～ヒト組織で繋ぐ基礎と臨床の架け橋～

2024年6月13日(木)、14日(金)

会場：湘南アイパーク・講堂（オンサイト開催のみ）

学術年会長：月見 泰博（あすか製薬株式会社）

学術年会特別委員長：木内 祐二（昭和大学）

<敬称略 演者、演題ならびに講演順は変更になる場合がございます>

6月13日(木)

◆ 9:00～ 開会の辞 ◆

9:10-11:10 シンポジウム I

ヒト試料と最先端分析・解析技術を活用した標的ならびに
バイオマーカー探索および患者層別化への挑戦と課題

- 仮説生成に特化した AI 創薬
豊業 博義（株式会社 FRONTEO）
- 創薬研究におけるターゲットバリデーションと薬理評価
高橋 良昌（帝人ファーマ株式会社）
- オミクス解析と Quantitative Systems Pharmacology を
活用したトランスレーショナル研究への挑戦
齋藤 隆太（田辺三菱製薬株式会社）
- 自己免疫疾患ヒト皮膚検体を用いた統合的な空間オミクス解析
—臨床検体の利活用による PoC 取得成功確率の向上を目指して—
新田 克章（アステラス製薬株式会社）

11:10-12:10 特別講演 I

『臨床検体から HTLV-1 関連疾患の病態を考える』

内丸 薫（東京大学大学院 新領域創成科学研究科）

◆ 12:20 - 13:20 ランチョンセミナー 1 ◆

13:40-14:40 特別講演 II

『State-of-the-art translational research in drug
discovery and development』

Dr. Vesna Eraković Haber (Selvita)

14:50-16:50 シンポジウム II

薬効薬理解析におけるトランスレーショナルリサーチ
：モデル評価系を中心に

- ヒト iPS 細胞由来腎臓細胞を用いた in vitro 線維化モデル
の構築と抗線維化薬のスクリーニング
上谷 大介（京都大学 iPS 細胞研究所湘南分室 T-CIRA）
- がん領域におけるヒト腫瘍組織を活用した in vitro/ in vivo
試験モデルによる Translational Research
市川 克臣（Crown Bioscience & MBL）
- ヒト試料へのアクセスを活かした抗体医薬品の薬効薬理解明への試み
細沼 雅弘（昭和大学医学部）

◆ 講演終了後 17:00 - 懇親会 ◆

会場：湘南アイパーク講堂
参加費：8,000 円（事前 6,000 円）

協賛：日本薬物動態学会、日本動物実験代替法学会
日本臓器保存生物医学学会、日本薬理学会
化学工学会バイオ部会、日本再生医療学会
後援：日本毒性学会、日本臨床薬理学会
（順不同・予定を含む）

<お問い合わせ・お申込み先>
特定非営利活動法人 HAB 研究機構



〒272-8513
千葉県市川市菅野 5-11-13
市川総合病院角膜センター内
TEL 047-329-3563 FAX 047-329-3565
E-mail secretariat@hab.or.jp
URL https://www.hab.or.jp

最新情報は、右の QR コードから
特設サイトにてご確認ください。



事前参加申込期限：2024年4月26日(金)

<参加登録費> (要旨集を含む)

HAB 研究機構正会員：10,000 円（事前 8,000 円）
※ 賛助会員：10,000 円（事前 8,000 円）
非会員：15,000 円（事前 13,000 円）
学生：8,000 円（事前 6,000 円）
【懇親会：8,000 円（事前 6,000 円）】
※※ 関連学会会員：12,000 円（事前 10,000 円）

※ 賛助料一口につき 1 名様適用。それ以外は非会員扱いとなります。
※※ 協賛・後援団体の所属員を予定しております。

6月14日(金)

9:00-11:00 シンポジウム III

ヒト組織を利用した ADME 研究最前線 ～抽出組織と iPS 細胞が織りなす
創薬研究への競争と協奏～

- ヒト抽出小腸腸窩由来細胞を利用した薬物動態・安全性評価方法の開発
橋原 洋之（東京大学大学院薬学研究所）
- 再生医療技術を利用して作製した分化細胞はどの程度ヒト組織由来細胞
と機能面で相関するのか？ ～腸管上皮細胞や肝細胞を例に～
水口 裕之（大阪大学大学院薬学研究所）
- ヒト抽出肝組織由来細胞を利用した薬物動態・安全性評価方法のための
技術開発
中村 和昭（国立成育医療研究センター）
- iPS 細胞由来血液脳関門モデルを用いた創薬研究
西原 秀昭（山口大学大学院医学系研究科）

11:00-12:00 特別講演 III

『バイオバンク試料・情報の創薬研究への利活用促進 —東北大学東北
メディカル・メガバンク機構の産学連携での取り組み』

野口 憲一（東北メディカル・メガバンク機構）

◆ 12:00 - 13:00 ランチョンセミナー 2 ◆

13:00-14:00 一般講演 (ポスター)

・若手研究者・学生を対象に、優秀発表賞を選出・授与します。

14:00-15:00 一般講演 (口頭)

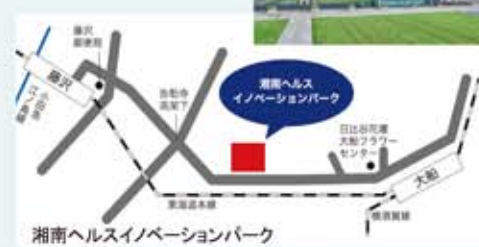
15:00-17:00 シンポジウム IV

臨床サンプルを用いた安全性研究において Cutting edge technology
をいかに応用するか？

- 臨床サンプルを用いた薬剤安全性評価の現状と今後の展望
木村 真弥（武田薬品工業株式会社）
- ヒト試料を用いた Idiosyncratic toxicity のメカニズム解析と予測への応用
白井 亨（住友ファーマ株式会社）
- ヒト iPS 細胞由来多臓器オルガノイドを用いた安全性研究
高田 智夫（大阪大学大学院医学系研究科）
- DNA 配列依存的な転写予測 AI の開発と遺伝的リスク解明への応用
小井土 大（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

◆ 17:00～ 閉会の辞 ◆

◆ 17:10～ 次期年会長挨拶 ◆



・「大船」駅 (JR 東海道本線 / JR 横須賀線) より、
バス (約 20 分)、タクシー (約 10 分)、徒歩 (約 35 分)
・「藤沢」駅 (JR 東海道本線 / 小田急江ノ島線) より、
バス (約 15 分)、タクシー (約 15 分)、徒歩 (約 30 分)
◆ より詳しい案内は、「湘南アイパーク HP」をご覧ください。
～ お越しの際は公共交通機関をご利用ください～